

3
2023

三重病院

ニュースレター

news letter vol.278

- 01 大人の食物アレルギー～何科を受診したらいいの～
- 02 2022年度 特定行為研修へ参加して2病棟の子どものたちの生活のひとコマ
- 03 通所支援事業のひとコマ
5病棟の生活のひとコマ⑦
やまばとギャラリー情報コーナー
今月のみえツウちゃん
- 04 病院からのお願い
外来からのお知らせ／外来診察のご案内



大人の食物アレルギー

何科を受診
したらいいの？



食物アレルギーというと、お子さんのイメージがあるかもしれませんが、実は大人になってから発症する食物アレルギーも少なくありません。

「口の中やからだがかゆくなるから食べないようにしている食べ物がある」、という方から、「レストランで食事してから散歩したら突然じんましんがでた」、「食後に息苦しくなりひどい腹痛で苦しんだ」、といった方までいろいろですが、何科を受診したらいいのかわからない？とか、三重病院って小児科だから大人はだめ？とか思われている方へ、三重病院アレルギー科では大人の食物アレルギーにも対応します。

① 何かを食べて苦しんだり、救急受診したら、アナフィラキシーと言われた!!

ひどいアレルギー症状はアナフィラキシーといいいますが、何かを食べて、息苦しくなったり、意識がもうろうとしたりして、救急病院で処置してもらったけれど、これからどうしたらいいのかわからない!!どんな食べ物を避けたいのかわからない!!といった方は当院にご紹介いただいています。三重病院ではフローサイトメーターを用いる最新の特異検査を含むいろいろな検査や、経口負荷試験などで、原因を突き止めるようにします。アレルゲン除去のしかた、誤食してアナフィラキシーが再び起きたときどうするか、ということもわかりやすく説明します。

② いろんな食べ物で症状が出て、どんどん食べられないものが増えていく!!

例えば、果物を食べるとかゆいな、と思う程度だったのが、ナッツ類や甲殻類などいろんな食べ物で調子が悪くなり、どんどん食べるものが制限されてしまう、という方がみえます。でも、「食べられない」と思うものの中にも、本当に症状をおこすものどだいじょうぶなものがあります。しばらく入院していただき検査をすると、除去すべきものと、食べられるものを整理することができます。何も食べられない、と思っていた方でも、「やめるのはこれだけ」、という必要最小限の除去にできますので、食生活はずっと楽になるはずですよ。

③ 遅延型アレルギーと言われました!

何か体調不良があり、あなたの症状は遅延型アレル

ギーのためだから、小麦、牛乳をやめなさい、などと言われたことはありませんか。遅延型アレルギー検査でIgG抗体が陽性だからやめなさい、といわれたことはありませんか。からだや心の不調はいろいろで、よい治療法がないものも多いのですが、食べ物が原因だから食事療法で良くなる、と言われると、そうかな?とつい思ってしまうでしょう。でも、ここで言われる遅延型アレルギー*に科学的根拠はありません。

もちろん、食物アレルギーにはいろいろなタイプがあり、ゆっくり症状がでてくるものもあります。(例えば、海でクラゲにさされたあと、納豆でアナフィラキシー、とか、山でダニに刺されたあと、肉を食べてアナフィラキシー!とか、これらは次の機会に説明します)。でも、何でも食べ物が原因ということにはなりません。甘いものを食べすぎない、とか、野菜をなるべくとる、とか、バランスのよい食事はたいせつですが、根拠なく食べ物のせいにして、不必要な除去をしてしまうと、食生活が不自由になるだけでなく、栄養のバランスも崩れてしまい、結局、健康を損ねます。三重病院では、ゆっくり症状を聞かせていただき、科学的な根拠にもとづいて診断して、本物のアレルギーと、食べ物とは関係のない症状を見分けるようにしています。

④ ずっと受診が必要なの?

ご自分の食物アレルギーについて理解されて、対応のしかたを習得されたら、かかりつけの先生にみていただくようにするか、年に1回程度(たとえばエピペンの更新時期など)に受診していただきます。

診察場所は「小児科」ですが、「アレルギー科」には成人の患者さんも沢山いらっしゃいます。食物アレルギーなのかしら?と思うことがあればご相談ください。

*
ご注意
遅延型アレルギー検査、食物へのIgG抗体検査というのがネットで調べると出てきますが、食物アレルギーのガイドラインでは診断に使えないことが明記されており、もちろん保険診療でも認められていません。自己判断は禁物、ご相談ください。

(臨床研究部長 長尾 みづほ)